

NHK「歴史秘話ヒストリア」に当館と 所蔵資料が登場しました

寺子屋で使われた「今川状」を紹介

7月14日放送のNHKの歴史秘話ヒストリア「戦国一華麗な敗者復活戦～今川プリンスと妻の二人三脚～」で、当館所蔵の今川状（『今川了俊愚息仲秋對制詞条』）が紹介されました。

今川状とは、室町前期の武将今川貞世（了俊）が養子（実弟）に与えた家訓で、後の江戸時代には寺子屋などの教科書・修身書として広く使われました。

貞世は、番組の主人公 今川氏真の先祖に当たります。



今川状（日本近代教育史資料 T1A0/22/168）

大石図書館長が解説

番組には当館の大石 学 館長（歴史学分野）が出演し、戦国武将としては滅びた今川家とその後の氏真の活動で家を永らえ江戸時代末まで文化面で貢献したこと、その一つの現れとして今川状が寺子屋で広く普及したことを解説しました。

当館は江戸期以来現代に至る膨大な教育史関係資料を所蔵し、広く社会に役立てるため、その多くをデジタルアーカイブとして公開しています。

番組では当館の外観も紹介されました。



大石図書館長



当館外観

- 一 賢い部下を嫌い、邪悪な人物を愛して、これに動かされることを禁ずる。
- 一 道にはずれた行ないによって、富んだものやうらやんではない。正しい行いをしながら恵まれぬ境界にある人を軽蔑してはならない。
- 一 宴会や遊びごとにふけり、家のつとめを忘れてかけごとにおぼれることを禁ずる。
- 一 みずからの才能に慢心して、万事につき他人をあざけることを禁ずる。

『武家の家訓』吉田 豊編訳(徳間書店)
による